

平成30年度実践的放射線治療人材育成セミナー 外部放射線治療における水吸収線量の標準計測法と第三者評価 実務講習会（技師・物理士編）を開催しました

平成30年10月27日（土）に広島がん高精度放射線治療センターにおいて放射線治療品質管理機構との共催で標記講習会を開催し、広島県内外から総勢21名の放射線治療品質管理担当者である診療放射線技師・医学物理士の皆様にご参加いただきました。

今回の講習会の背景として、がん診療連携拠点病院の整備に関する指針に「第三者機関による出力線量測定を行う等、放射線治療の品質管理を行うこと。」と明記され、放射線治療の品質管理に関する第三者評価が全国的に注目され始めていることが挙げられます。そのような背景の中で、本講習会では線量測定に関わる品質管理の均てん化のための地域ネットワークを構築すること及びそのネットワークを通じて、品質管理の脆弱な施設に支援を行う仕組みを構築することを目的として、中国地方におけるパイロットスタディを開催いたしました。

本講習会では、医用原子力技術研究振興財団が行っている治療用出力線量測定事業（ガラス線量計郵送測定）においてHIPRACのリニアックの出力誤差が大きかったと仮定し、その原因を調査すべく、地域の評価者を含めた参加者の方々にその原因を考察していただくというものでした。参加者を4グループに分け、まず出力誤差が出現した原因をグループ討論によって考察し、その後実際に実機を使用した測定でそのエラーの切り分けを行っていき、各グループで一つの結論を出してプレゼンを行い、その後、総合討論を行いました。

本講習会を通じ、実際に訪問調査による支援を行う際の問題点や改善点を参加者から収集することができ、今後のこの事業の発展のためのよい意見が収集できました。地域への支援、地域ネットワークの強化の重要性も再確認することができ、今後の普及・発展することを期待しています。



引き続き、様々な研究会とタイアップしながら診療放射線技師の人材育成を行ってまいります。
今後のセンターの動向にぜひご期待ください。
活動内容は下記ホームページに随時アップしてまいりますので、ご確認いただければ幸いです。
(<http://www.hiprac.com/>)



**HIPRAC**
Hiroshima High-Precision Radiotherapy Center
広島がん高精度放射線治療センター

★HIPRACに関する質問（診療・受診方法など）は、こちらへお問い合わせください。

mail: office@hiprac.jp

Tel : 082-263-1330 / Fax: 082-263-1331



↑帝京大学 川村先生より
品質管理機構の取り組みについて



↑山口大学 田辺先生より
本講習会の概要について



↑実機を用いた測定の様子



↑グループ討論の様子



↑参加者全員での記念撮影。測定に討論にお疲れ様でした